

復帰40年
5.15
未来へ

男女市民生活連絡協議会
副会長

共同参加について考える機会を提供し、差別のない社会を構築したい。
近年、県の女性問題に関する施策力が弱くなっている。就労

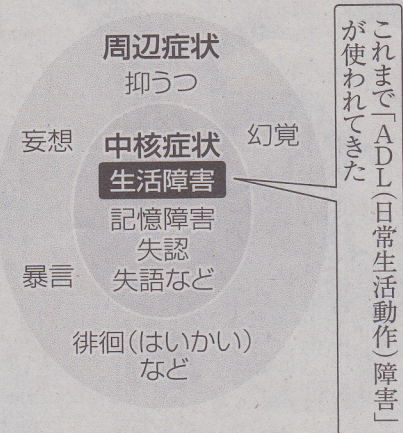
せ課題解決に努めてきた。1団体では小さくても、結果すると大きな力が発揮できる。社会問題に一丸となって取り組んでいきたい。(うるま市)

アルツハイマー型認知症の用語変更

中核的症候「生活障害」に

アルツハイマー型認知症が進むと、記憶障害だけでなく、日常生活にも困難が始め、さらに進むと、食事や着替えなども一人でできなくなる。認知症の中核的症候は、これまで「ADL(日常生活動作)障害」という分かりにくい用語を使ってきたため、浸透度はいまひとつだった。今後は代わりに「生活障害」を使うことになり、厚生労働省や医療関係者は、認知症の理解が進むと期待している。

アルツハイマー型認知症の中核症候と周辺症候



これまで「ADL(日常生活動作)障害」が使われてきた

うまく使いたい治療薬



香川大医学部の
中村祐教授

香川大医学部の中村祐教授(精神神経医学)は「アルツハイマー型認知症で『物忘れ』は受診の動機にはなっているが、実際に受診するのは『生活障害』、つまり日常生活

で困ったことが起こって「それが普通」と話す。生活障害といってもさまざまな段階がある。「都会と田舎では困り方が違う。食事や排せつ、着替え、入浴などができなくなると誰でも困るが、買い物や電話、家計管理などの細かいことな

どで困るのは都会の方が早めに出てくる。例えば駅で切符を買うときの券売機の操作とか」アルツハイマー型認知症の生活障害では、特に買い物と服薬の二つ、女性の場合は食事の用意が加わって三つが、最初に障害を受けることが多いという。さらに生活障害が進むと、当然、介護の負担が大きくなる。

「認知症の治療薬は一度中断すると、患者さんは一段と悪くなるので、中断を防ぐことが大事。特に高齢者は肺炎で入院することがあり、その際、肺炎では飲み薬を全部止められ、点滴だけの治療となる。貼り薬の認知症薬は非常に有効で、存在意義がある」と話している。

①「食事はいつ(取った)などの質問をすると、自分で答えず、すぐ同伴者の方を向いて応援を求めると、財布を見る。買い物で計算ができない人は一万円札ばかり持っていたり、財布を忘れてなくす人は財布が新しい③冷蔵庫の中をのぞく。印鑑など冷やさないものや同じ物

「パッチ剤でどのくらい介護者の負担が軽減するか、34例の患者で調べてみた。スタートから8週間後で平均22分、12週間後で同35分、介護時間が短くなっていた。介護者を疲れさせない意味があると思う」と工藤院長。

工藤千秋院長は「アルツハイマー型認知症は明らかにおかしくなる前に、初期段階で見つけ、早く投薬することが大事。見つけ方の秘訣は三つある」と指摘する。

「生活障害の抑制の点からは、リバスチグミン(成分名)が国内臨床試験で、明らかに効果があることが分かっている」と中村教授。4薬の中では、唯一のパッチ剤(貼り薬)なので、飲み忘れられることもなく、介護者の負担軽減にもなりそう

有...を訴...98...ら...化...す...産...験...ま...90...に訪...付...そ...た...「人...と4...マ...査...み...たら...ボニ...